

平成30年度事務事業評価（外部評価）実施要領

根室市総合政策部総合政策室

1. 目的

第9期根室市総合計画に基づく着実なまちづくりの推進に向け、根室市が実施する行政評価の客観性、透明性、信頼性を確保することを目的として、根室市外部評価委員会による市民の視点からの事務事業の見直しに活用するとともに、今後の事務事業選択を市民目線で行うための職員の意識付けなどを図るために実施するものです。

2 対象となる事務事業

市の裁量で行われる事務事業のうち、内部評価において「現状のまま継続」「見直しの上で継続」として位置付けられ、市民や外部の視点から見直しの方向性を議論することが有意義であると考えられる事務事業のうちから、次の10事務事業を対象とします。（市の裁量権が低いと判断される法定受託事務、委託事業、制度やルール等に基づく負担金事業等は除く）

【互いに支えあい健やかに暮らせるまち】（3事業）

事業名	事業内容（目的）	H30 予算額 （千円）	備考
保健指導及び医師対策経費 （保健課）	市内に医師として勤務または開業しようとする医学生・研修生及び、市内医療機関に従事しようとする医療技術者に対し、修学資金の貸付を行う。	51,640	
老人いきがい対策経費 （介護福祉課）	高齢者福祉事業団の体制強化や、会員に適した仕事の開拓と提供の推進を図る。	1,601	
仕事・暮らしサポート事業 （社会福祉課）	被保護者への自立支援、生活困窮者への支援を行い、生活保護に陥る前に、早期に実態に即した支援をすることで安定した自立生活を営むことを目指す。	9,627	

【安全・安心に暮らせる都市基盤の充実したまち】（1事業）

事業名	事業内容（目的）	予算額 （千円）	備考
災害備蓄推進事業 （総務課）	各避難所に災害発生時への備えとして、食糧をはじめとした防災備蓄品の配備及び防災倉庫の設置。	3,440	

【個性を伸ばし豊かな心と感性を育むまち】（2事業）

事業名	事業内容（目的）	予算額 （千円）	備考
適応指導教室運営 経費 （教育総務課）	適応指導教室「ふれあいくらぶ弥生」において指導員と不登校児童生徒との信頼関係を構築し、生活の立ち直りの支援を行うことや、体験活動や集団活動を通じて興味関心を広げ、対人関係の改善を図る。	1,076	
史跡等文化財博物館活動推進事業 （歴史と自然の資料館）	日本百名城に選定された国指定史跡「根室半島チャシ跡群」を訪れる市民や観光客が急増しており、史跡の保存と有効活用が交流人口の拡大につながるよう、適切な史跡めぐりのルート化を充実させる。	252	

【地域資源を活かした活力と躍動感に満ちたまち】（3事業）

事業名	事業内容（目的）	予算額 （千円）	備考
農業後継者対策事業 （農業委員会）	農業後継者対策としての、農業後継者と都市女性との交流会等の実施。	450	総合戦略
定住・移住促進事業 （総合政策室）	都市部からの団塊の世代や若者等移住を検討する方々に移住を促すため、移住体験住宅等の移住促進施策のPRと施設運営。	5,035	総合戦略
創業支援制度補助事業 （商工観光課）	UIターン者における新規創業者に対して、開業準備費及び建物賃借料の補助を行い、新規創業や雇用の創出、産業の振興を図る。	2,719	総合戦略

【基本構想の推進方針】（1事業）

事業名	事業内容（目的）	予算額 （千円）	備考
広報広聴経費 （総務課）	広報紙や、HP・FB等を活用した市民への情報発信を行うとともに、まちづくり出前講座や市政ウォッチングの実施等により、市政への理解やまちづくりへの参加促進を図る。	11,055	

3 外部評価委員

根室市外部評価委員会委員 10名

4 外部評価委員の構成

- (1) コーディネーター（根室市外部評価委員会委員長及び副委員長）
- (2) 判定員（根室市外部評価委員会委員長及び副委員長以外の委員）

5 外部評価実施のグループ編成

外部評価実施の際は、総務・文教・保健・医療・福祉分野の事務事業を評価するグループと、生活・産業分野の事務事業を評価する2つのグループに分け各5名で編成するものとし、1グループにつき各5事業について外部評価を実施する。

※総務・文教・保健・医療・福祉グループ

	氏名	役割
1	山 谷 良 雄	コーディネーター
2	吉 岡 教 之	判定員
3	奥 田 誠 二	判定員
4	平 賀 ひさ子	判定員
5	稲 田 美 樹	判定員

●評価対象事業

- ①保健指導及び医師対策経費（保健課）
- ②老人いきがい対策経費（介護福祉課）
- ③仕事・暮らしサポート事業（社会福祉課）
- ④適応指導教室運営経費（教育総務課）
- ⑤史跡等文化財博物館活動推進事業（歴史と自然の資料館）

※生活・産業グループ

	氏名	役割
1	山 下 大 介	コーディネーター
2	神 田 雄 一	判定員
3	原 啓 治	判定員
4	早 川 元	判定員
5	小 山 けい子	判定員

●評価対象事業

- ⑥災害備蓄推進事業（総務課）
- ⑦農業後継者対策事業（農業委員会）
- ⑧定住・移住促進事業（総合政策室）
- ⑨創業支援制度補助事業（商工観光課）
- ⑩広報広聴経費（総務課）

6 スケジュール

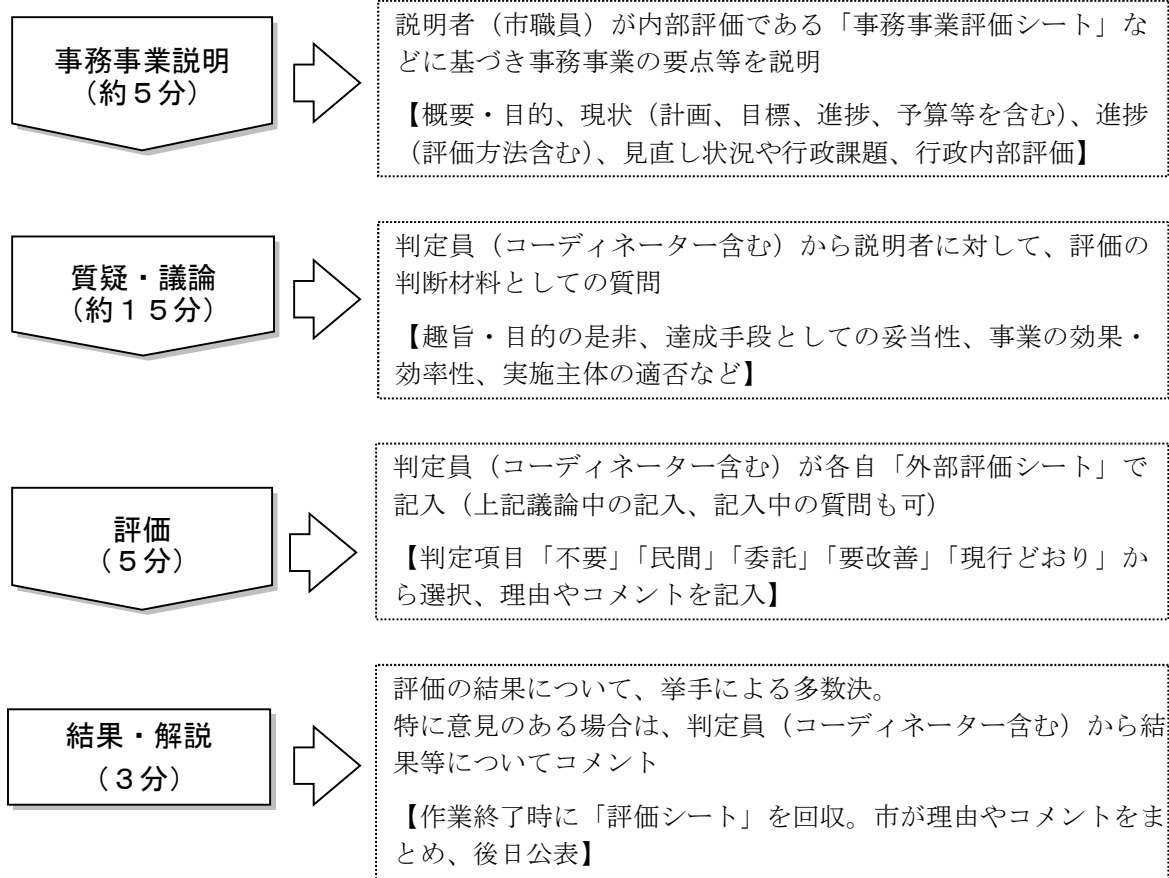
(1) 第1回会議 [平成30年12月21日(金)]

- 「委嘱状交付」、「委員長・副委員長の選出」
- 「外部評価実施」 - 実施事業数 10 事業（1 事業 30 分程度）⇒ 2 グループに分かれて、全体で 3 時間程度

(2) 第2回会議 [平成31年3月予定]

- 外部評価結果公表（所管課の対応方針など）

7 外部評価の進行方法



- ※ 会議は原則公開とします。（傍聴要綱あり）
- ※ 会議の進行や調整は、コーディネーターが行います。
- ※ 市担当者は、所管部局の課長職若しくは主査職とします。
- ※ 評価の調整が困難な場合については、複数の意見を総合評価とします。

7 評価結果の取り扱い

- 評価結果は、所管部局へフィードバックし、その対応を検討します。
- 理事者の最終方針決定のための判断材料の一つとして活用します。

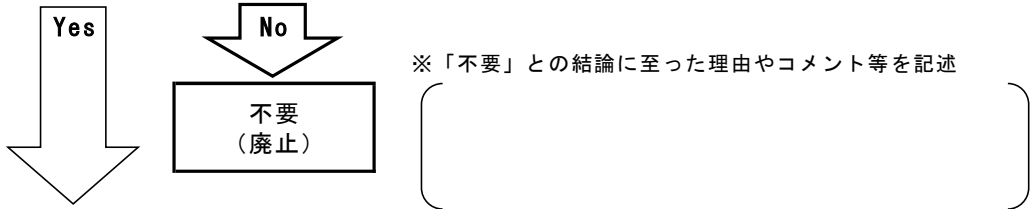
8 結果の公表

市ホームページ等により評価結果を公表します。

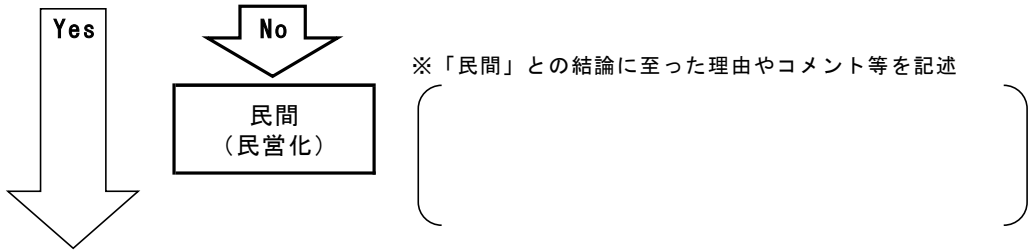
外部評価シート
(記載例)

番号	○	事務事業名	○○○○○○○事業	委員名	○○○○
----	---	-------	-----------	-----	------

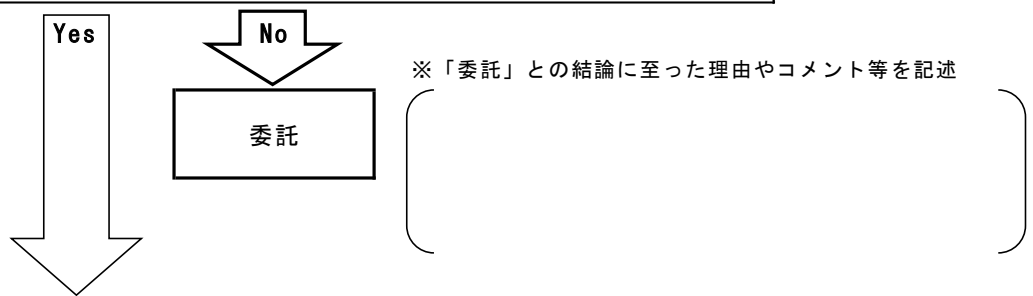
チェック 1 市民にとって必要とされる事務事業か？



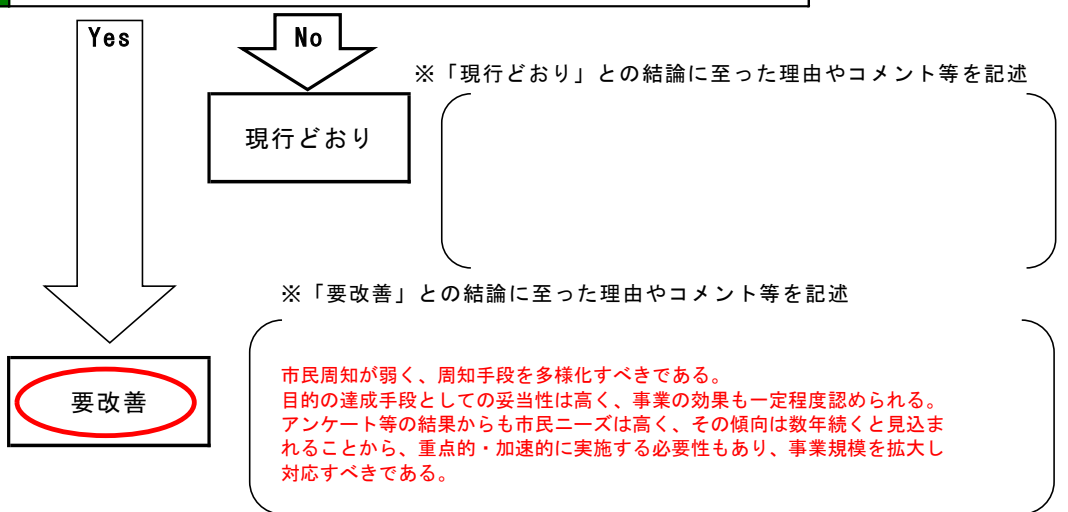
チェック 2 行政が担うべき (実施すべき) 事務事業か？



チェック 3 行政の直営が妥当な事務事業か？



チェック 4 改善が必要な事務事業か？



シート記入方法

- ①5種類の判定項目「不要」「民間」「委託」「要改善」「現行どおり」から1つを選択して○をつける。
- ②判定項目の結論に至った理由やコメント等について括弧内に記述する。